



宝永小だより

No.2

福井市宝永小学校
令和8年4月22日

学校教育目標：ひとり立ちできる子 ～心身共にたくましく、進んで学び合い、高め合う児童の育成～
めざす児童像：進んで学び合える子・協力し合える子・心と体を鍛える子・ふるさとを大切にする子

新任式・担任発表・始業式 4月8日(水)

春休み明けの初日、3名の教職員の新任式を行いました。新任教職員の紹介の後、各教職員が子どもたちに挨拶をしました。6年生の代表からは、温かい「歓迎の言葉」が述べられました。

その後、子どもたちはドキドキとワクワクする中で、各学年の学級担任が順に発表されると、子どもたちの喜びや驚きの声が上がりました。さらに、担任以外の教職員も紹介されました。そして、「よろしくお願ひします」という全校児童の元気な挨拶が体育館に響き渡り、私は身が引き締まる思いでいっぱいになりました。

始業式では、「私は宝永小学校の皆さんの校長に続けてなれたことを、心からうれしく思っています」と、笑顔で伝えました。そして、「私は今年度も一年間、宝永小学校の皆さんの校長先生であることをもっともっと笑顔で楽しみたいと考えています」と、私の思いを語りました。もちろん、教職員一同、宝永小学校の子どもたちのさらなる成長を楽しみにしていることも加えました。

その後、新年度にあたり、改めて「めざす児童像」についての話をし、確認をしました。今年度も、「進んで学び合える子」「協力し合える子」「心と体を鍛える子」「ふるさとを大切にする子」の4つを常に心がけ、子どもたちには、さらに笑顔いっぱいの『宝永っ子』となれるよう頑張ってもらいたいと願いを伝えました。加えて、学校教育目標である「ひとり立ちできる子」にも触れ、4つの児童像を目指して学校の活動に取り組むことを通して、自分の力で物事をやりとげようとする心や、自分で考え行動する力を身に付けた子どもに育ててほしいという到達目標の姿も語りかけました。

本校では一昨年より、福井県版ポジティブ教育プログラムの推進に取り組み、2年が経過しました。本プログラムは「いじめ等の予防につながる『ソーシャルスキル教育』を柱としたプログラム」、「仲間同士の認め合い、支え合いが可能となる『ピア・サポート活動』を柱としたプログラム」、「逆境に負けない心を育てる『レジリエンス教育』を柱としたプログラム」の3つから成り立っており、着実に子どもたちの成長を感じています。例えば、上の学年の子どもたちが下の学年の子どもたちにやさしく接したり、助けが必要な仲間を見つけて助けようとする姿を、色々な場面で見るできるようになりました。本年度も本プログラムに継続して取り組むことを通して、子どもたちがこれからの社会（先行きが不透明で、将来の予測が困難な社会）を生き抜いていく力の基盤を養っていきたく考えています。そのためにも、本プログラムで学んだ力を実践できる場として、各学級・学年での体験活動や本校の強みである縦割り（全学年や異学年で構成された）グループによる体験活動に積極的に取り組み、子どもたちの成長を支えていけるよう、教職員一同が協働して進めていきたいと思っています。

本年度も保護者の皆様と地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。



＜新任式での一場面＞

新入生36名が仲間入りした入学式 4月8日(水)



＜36名の新入生＞

～校長式辞より～

＜ 3つの約束 ＞

- ①自分からあいさつをしよう
- ②お話をしっかり聴こう
- ③みんなと仲よくしよう

36名の新入生を迎え、全校児童が参加して入学式を行いました。校長式辞の後、PTA会長の ○○○○ 様から、祝辞をいただきました。1年生の子どもたちは緊張しているように見えてましたが、しっかりと話を聴いていました。「歓迎の言葉」では、6年生の代表が優しく、そして堂々と1年生に語りかけました。授業やたてわり活動（通称：にこフレ活動）のこと、学校の外での学習（校外学習）のこと、校内運動会のことなどを紹介してくれました。そして、「今、緊張している子もいると思います。でも、この宝永小学校には、優しいお兄さんやお姉さんがいます。困ったときは、何でも相談してくださいね。一緒に楽しい思い出を作りましょう。」と締めくくり、とても立派な態度と言葉で、大役を果たしてくれました。6年生になったばかりの二人でしたが、とても頼もしく思いました。1年生の子どもたちは、上級生をお手本にしながら、どのように成長していくのだろうと考えると、今後が楽しみです。

本年度は「ありがとうの花」を咲かせよう 4月10日(金)

本年度、1回目の全校朝礼を行いました。本校に入学して3日目の1年生も早速、参加しました。体育館で初めて並ぶ機会でしたが、短い時間で前後左右の間隔を整え、2列で整列することができました。1年生の子どもたちが、各園で身に付けてきた力の一面を垣間見ることができたように思います。

全校朝礼では、昨年5月に話をした「ありがとう」の意味と「ありがとう」を伝えることの大切さについて、ふり返りました。そして、令和7年度は「ありがとう」のメッセージが651通も届けられ、10本の「ありがとう」の木を育てられたことを讃えました。



令和7年度 10本の「ありがとう」の木

<令和7年度の取組>

本年度は「『ありがとうの花』を育てよう」という取組で、「ありがとう」のメッセージを伝える活動を続けていきたいと提案しました。4月は「『さくら』プロジェクト」と銘打って、「ありがとう」のメッセージで満開にしようと、子どもたちに呼びかけました。この取組は1年間を通して行い、毎月異なる花を咲かせていきたいと、私の決意表明も加えました。

現在、掲示板のさくらの木は、咲き始めです。きっと、4月30日には満開を迎えているに違いありません。私も子どもたちに「ありがとう」のメッセージをたくさん送れるよう、近くで見守っていきたくと思っています。

1年生 授業だけでなく、給食も開始 4月17日(木)

入学式の翌日から、1年生の学校生活が順調に始まりました。登校してきた子どもたちは教室へ行き、まず、提出物を出してから学習用具を机に入れ、ランドセルをロッカーに片付けます。そして、体操服に着替えます。その際、ハンカチなどは体操服のポケットに入れ替えます。どの子どももだんだん上手にできるようになり、始業時刻の8時5分には全員が着席しています。授業では、聞き方や話し方、鉛筆の持ち方、集団生活でのきまりなどを一つ一つ身に付けていきます。子どもたちは、様々なことを自分でやりとげようと頑張っています。



<1年生の授業の様子>

1年生の給食も始まりました。5名の給食当番が慣れない手つきで配膳をした後、分けきれなかった量を担任等の支援のもと、給食当番が改めて配分しました。ほぼ分けきったところで、子ども



- ・ごはん
- ・牛乳
- ・米粉揚げぎょうざ
- ・チンゲンサイのソテー
- ・ビーフンスープ

<<1年生 初日の給食>>

たちは合掌をし、大きな声で「いただきます」と言って、おいしそうに食べ始めました。多くの子どもたちは、きれいに食べ切ることができました。給食時間の終わり頃には、6年生の子どもたちが、片付け方を教えに来てくれました。牛乳パックのたたみ方や食器の片付け方などを優しく丁寧に教えてくれていました。温かい言葉がけをしてくれる6

年生の子どもたちの姿に、大きな成長を感じました。最上級生として自覚をもって行動できる6年生の子どもたちの頼もしさに、嬉しさがこみ上がりました。

今年度も、毎月の給食指導目標に合わせた指導の他に、学校栄養教諭による「食に関する指導」を予定しています。給食を通して、食事の重要性・心身の健康・食品を選択する能力・感謝の心・社会性・食文化などについて考え、学んでほしいと思います。



<配膳の様子>

町内子ども会で登下校を確認 4月19日(金)

町内割り当ての各教室に集まって、年度始めの初顔合わせとなる町内子ども会を行いました。班長は1年教室へ、1年生の子どもたちを迎えに行ってくれました。まず、マップで通学路と危険箇所・かけこみ110番などを確認しました。そして、メンバーの確認と並び方、集合場所や集合時刻、集団登校時の注意事項を再確認しました。1年生の子どもたちにとっては初めてのことで、歩き方も班のメンバーと丁寧に教え合いました。その後、集団下校を行い、見守り隊の皆様や担当教諭の付き添いのもと、子どもたちは実際に歩きながら通学路の危険箇所や子ども110番の家・かけこみ所などを確かめました。保護者の皆様や地域の皆様には登録の有無にかかわらず、日頃より地域での安全な生活のために登下校の付き添いや温かい見守りをいただき、ありがとうございます。子どもたちには、今年度も交通事故に気をつけて、安全に登下校をしてほしいと願っています。どうぞよろしくお願ひします。また、今年度は14名の皆様が見守り隊として登録してくださいました。町内子ども会の時間帯には見守り隊の皆様にお集りいただき、情報交換会を開催し、連携を図りました。

***この「宝永小だより」は、子どもたちのがんばりや学校の様子をお伝えし、学校と家庭・地域との懸け橋になればと考えています。どうぞよろしくお願ひします。**